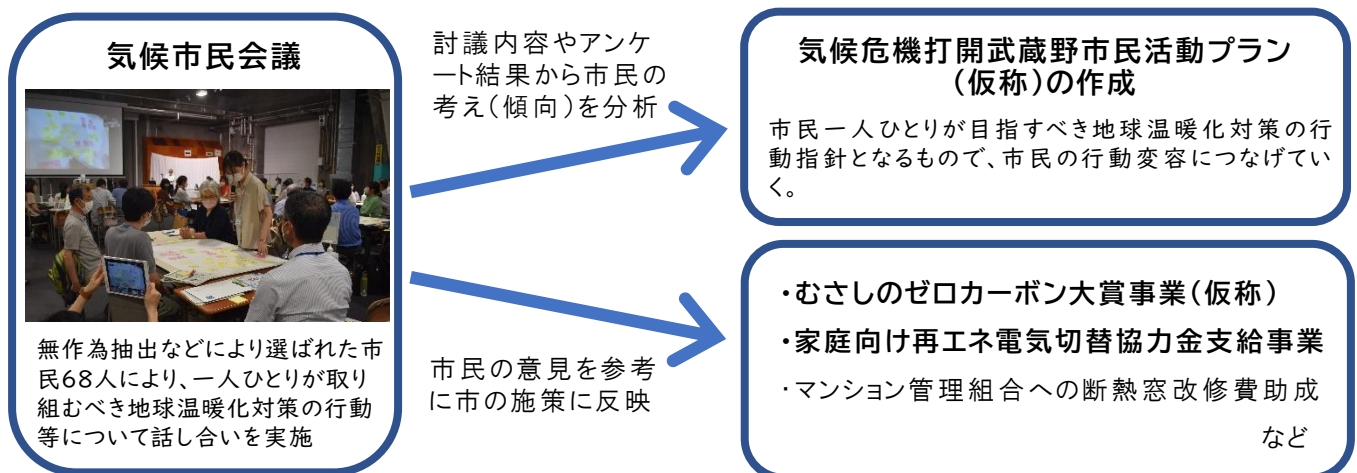


2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて 気候市民会議を踏まえた取り組みを推進します

世界各地で気候変動が増大し、地球温暖化が深刻化する中、武蔵野市においても今まで以上に、市・市民・事業者が地球温暖化の問題を当事者として強く認識し、一丸となって取り組む必要があります。

市では、市民が地球温暖化対策について主体的に議論する場として、令和4年7月から気候市民会議を開催し、無作為抽出などにより選ばれた市民の方々に5回にわたり活発な議論を重ねていただきました。

気候市民会議での議論や意見などを踏まえ、脱炭素社会の実現に向けてさまざまな取り組みを実施します。



■新規事業

(1) 気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)の作成

予算額 839万円7千円

気候市民会議での議論を踏まえて、さらに市民の地球温暖化対策への理解を深め、市民一人ひとりの取り組みにつなげていけるように、行動指針となる気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)を作成するとともに、具体的対策を例示したブックレットなどを作成し、全戸に配布します。

(2) むさしのゼロカーボン大賞事業(仮称)

予算額 50万円

気候市民会議を契機に市民の取り組みに対する機運を高め、活動の輪を広げていくため、市民の優れた取り組みを表彰し、SNSなどにより紹介します。

(3) 家庭向け再エネ電気切替協力金支給事業

予算額 413万4千円

気候市民会議の意見を参考に、市民の取り組みを後押しし、市域における再エネ電気の切り替えを促進するため、実質再エネ100%電気に切り替えた家庭に対し、協力金を支給する事業を開始します。